

高知県感染症発生動向調査（週報）

2012年 第48週（11月26日～12月2日）

★ お知らせ

○ インフルエンザ様疾患の集団発生報告がありました！

今シーズン初めて高知県内のひとつの小学校でインフルエンザ様疾患による学級閉鎖の報告がありました。県内では現在のところ大きな流行はしていませんが、これから寒さも増すとともに、空気も乾燥し、ウイルスが活動しやすい時期となりますので、感染予防に気を付けてください。予防方法としては、手洗い、うがい、咳エチケット、予防接種などがあります。外出後はこまめに手洗いやうがいをし、咳やくしゃみをする時はティッシュやマスクを口と鼻にあて、他の人に直接飛まつがかからないようにしましょう。予防接種は免疫をつけ個人の発病及びその重症化を予防することを目的に接種します。主治医と相談し早めに受けるようにしましょう。

○ 感染性胃腸炎に注意して！



定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の6.67から9.90に増加しました。患者発生報告数が増加するのは冬季で、その大半はノロウイルス等のウイルス感染を原因とするもので、嘔吐・下痢・腹痛・発熱などの症状を引き起こします。ほとんどの方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化したり、吐物を誤って気道に詰まらせて死亡する事があります。脱水にならないように、できる限り水分の補給をすることが大切です。感染力は大変強く学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあります。症状が消失した後も、約1週間は便の中にウイルスが排出される可能性があります。感染を拡げないために、帰宅後の手洗い・うがい、食事前やトイレの後は必ず手を洗いましょう。また、ウイルスを含む汚染物の処理には次亜塩素酸ナトリウムを使用するか、85℃以上で1分以上の加熱が必要です。次亜塩素酸ナトリウムの使用方法については、表示をしっかりと確認してください。

○ 水痘に注意して！

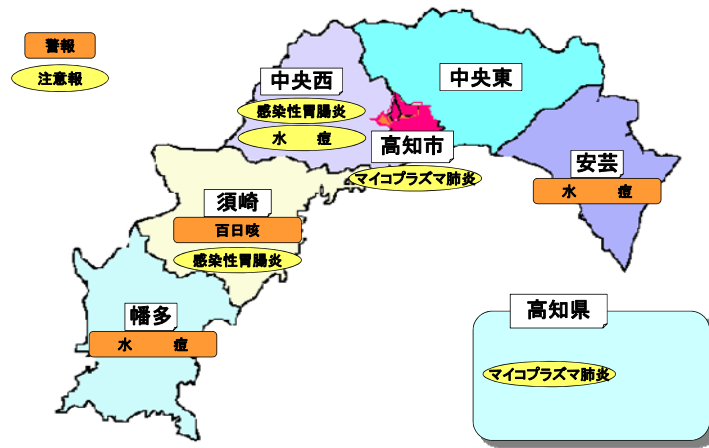
定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の1.97から1.90に減少しましたが、幡多では2.00から5.60に増加しました。臨床経過は一般的に軽症で、倦怠感、掻痒感、38度前後の発熱が2～3日間続く程度であることが大半ですが、成人ではより重症化しやすいです。感染力は強く、発疹出現の1～2日前から出現後4～5日、あるいは痂皮化するまで伝染力があるのでヒトとの接触をさけることが重要です。例年冬季に流行しているので引き続き手洗い、うがいの一般的な予防方法の励行に努めましょう。

★ 県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）  : 急増  : 増加  : 横ばい  : 減少  : 急減

疾病名	推移	定点当たり報告数(人)	県内の傾向
感染性胃腸炎		9.90	須崎、中央西、幡多、中央東、安芸で増加した。須崎、中央西では注意報値を超している。流行のシーズンなので注意が必要。
水痘		1.90	幡多、安芸で増加し警報値を超している。中央西では先週に続き注意報値を超している。流行のシーズンなので注意が必要。
RSウイルス感染症		0.87	須崎、中央東で増加した。流行のシーズンなので注意が必要。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.80	中央東、幡多、高知市で増加した。流行のシーズンなので注意が必要。
マイコプラズマ肺炎		0.75	高知市で増加した。

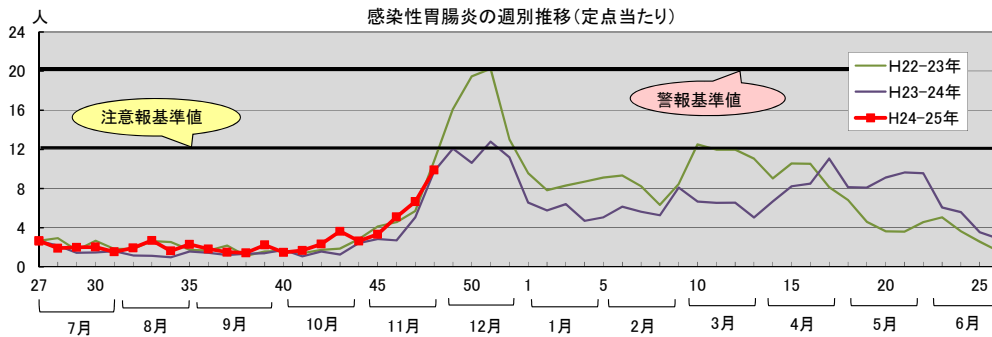
★ 地域別感染症発生状況



★ 気を付けて！

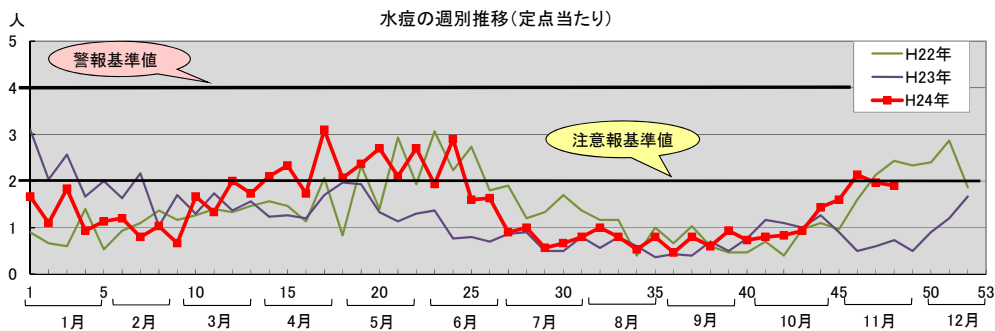
○ 感染性胃腸炎：9.90（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり9.90（前週：6.67）と4週連続増加しています。須崎(14.00)中央西(12.00)中央東(9.14)幡多(7.20)安芸(6.00)で増加し、須崎、中央西では注意報値を超えています。予防方法の基本は、手洗いです。特に、排便後、調理や食事の前には流水、石けんによる手洗いをしましょう。



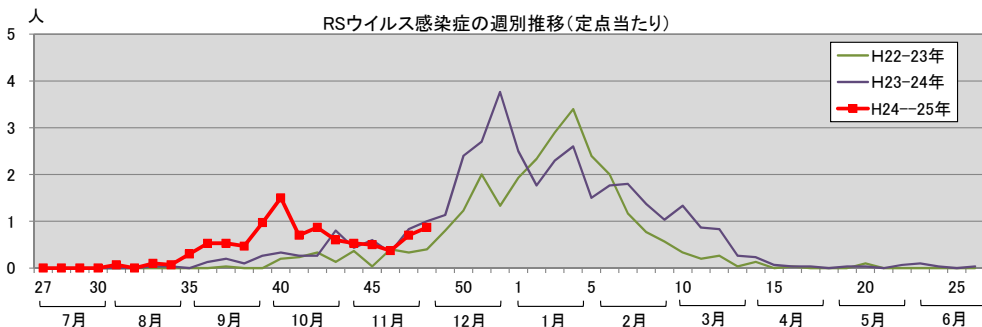
○ 水痘：1.90（注意報値：2.00 警報値：4.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり1.90（前週：1.97）と減少しました。幡多(5.60)安芸(4.50)で増加し警報値を、中央西(2.00)では注意報値を超えています。例年冬季に流行しているのので今後注意してください。予防方法は、感染源のヒトとの接触をさけることが重要です。また、飛まつ感染や接触感染を起こすため、うがいと手洗いを行ってください。



○ RSウイルス感染症：0.87

定点医療機関からの報告では定点当たり0.87（前週：0.70）に増加しました。須崎(4.00)中央東(1.00)で増加しました。例年冬季に流行する呼吸器疾患なので今後注意してください。予防方法は手洗い、うがいなどの一般的な予防方法の励行です。



★ 病原体検出情報

前週搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
48	感染性胃腸炎	7ヶ月	女	高知市	Norovirus GII NT
48	感染性胃腸炎	1	女	中央西	Norovirus GII NT
48	感染性胃腸炎	5	男	須崎市	Norovirus GII NT
48	感染性胃腸炎	7	女	須崎市	Norovirus GII NT
48	感染性胃腸炎	1	女	中央西	Sapovirus genogroup unknown
48	マイコプラズマ肺炎	8	女	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
48	マイコプラズマ感染	8	男	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
48	マイコプラズマ	12	男	須崎市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
48	マイコプラズマ	9	男	須崎市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
45	不明発疹症	2	女	須崎市	Rhinovirus
46	下気道炎	1	女	中央東	Rhinovirus
47	インフルエンザ	4	男	高知市	Adenovirus NT
47	感染性胃腸炎	9ヶ月	男	高知市	Adenovirus NT
47	感染性胃腸炎	2	男	須崎市	Norovirus GII NT

* 「保健所」について、患者の居住地を管轄する保健所名を記載する。

★ 全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結 核	5	131	20、60、80歳代（女）	高知市
				70歳代（男）	
				70歳代（男）	中央西

★ 定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	吉本小児科皮膚科	マイコプラズマ肺炎 1例（3歳女）
	早明浦病院小児科	6ヶ月男感染性胃腸炎はO-18検出 8ヶ月女はノロウイルス感染胃腸炎（家族感染）
高知市	けら小児科・アレルギー科	带状疱疹 1例（9歳男） アデノウイルス扁桃炎 1例（1歳男） マイコプラズマ肺炎 4例（7、8、10歳男、9歳女）
		福井小児科・内科・循環器科
	細木病院小児科	ノロウイルス（+） 1例（1歳男）
中央西	石黒小児科	ヘルペス性歯肉口内炎 1例（3歳男）
	くぼたこどもクリニック	感染性胃腸炎 2例（1歳男：南国市、5歳男：いの町）
	日高クリニック	キャンピロバクター腸炎 1例（2歳男）
須 崎	もりはた小児科	アデノウイルス扁桃炎 2例（1、6歳） カンピロバクター腸炎 マイコプラズマ肺炎 1例（12歳男） RSV 増加 感染性胃腸炎急増
幡 多	渭南病院小児科	アデノウイルス咽頭炎 1例（7ヶ月女）

★ 全国情報

第46週 (11/12～11/18)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核348例

3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症48例、

4類感染症：A型肝炎2例、つつが虫病16例、デング熱4例、日本紅斑熱4例、レジオネラ症13例

5類感染症：アメーバ赤痢21例、ウイルス性肝炎1例、急性脳炎1例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例
劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、後天性免疫不全症候群12例、ジアルジア症2例、
梅毒10例、破傷風2例、風しん30例、麻しん3例

報告遅れ：細菌性赤痢1例、デング熱1例、日本紅斑熱2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、
E型肝炎1例、急性脳炎2例、エキノкокクス症1例、

◆ 感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は多種多様な原因によるものを包含する症候群名である。全国約3,000カ所の小児科定点からの患者発生報告数が増加するのは冬季であり、その大半はノロウイルスやロタウイルス等のウイルス感染を原因とするものであると推測される。また、患者発生のピークは例年12月中となることが多く、同時期の感染性胃腸炎の、特に集団発生例の原因の多くはノロウイルスによるものであると考えられている。

ノロウイルス感染症の潜伏期間は数時間～数日(平均1～2日)で、主な症状は嘔気・嘔吐及び下痢であり、嘔吐・下痢は1日数回から多いときには10回以上のこともある。しかし、症状持続期間は数時間～数日(平均1～2日)と比較的短く、以前から他の病気がある等の要因がない限りは、重症化して長期にわたり入院を要することは少ない。また、発熱の頻度は高くはない。特効薬はなく、治療は対症療法となるが、最も重要なことは水分補給によって脱水を防ぐことである。

ノロウイルスの感染経路としては、以前は食中毒としての経口感染がよく知られていたが、感染後の発症者や無症状病原体保有者との直接もしくは間接的接触による接触感染や、患者の嘔吐物や下痢便を介した飛沫感染等のヒト-ヒト感染があり、その感染力は非常に強い。乳幼児の集団生活施設である保育所や幼稚園、小児の集団生活施設である小学校等においては、これら接触感染や飛沫感染等により、集団発生が繰り返されてきているものと推察される。また、2006年12月の東京都豊島区のホテルにおいて発生した集団感染事例のように、「吐物や下痢便の処理が適切に行われなかったために残存したウイルスを含む小粒子が、掃除などの物理的刺激によって舞い上がり、それを間近とは限らない場所で吸引し、経食道的に嚥下して消化管へ至る感染経路」である「塵埃感染」が発生する場合がある。ノロウイルスの感染予防には、流水・石けんによる手洗いの励行と吐物や下痢便の適切な処理がきわめて重要である。

感染症発生動向調査では、感染性胃腸炎は全国約3,000カ所の小児科定点からの報告に基づいている。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2012年第42週以降増加が続いており、第46週の定点当たり報告数は11.39(報告数35,862)となった。都道府県別では宮崎県(22.42)、福岡県(20.03)、大分県(19.42)、大阪府(19.21)、熊本県(18.73)、鹿児島県(18.69)、兵庫県(18.36)の順となっている。定点当たり報告数が全国値を上回っているのは西日本地域に多いが、42都道府県で前週の報告数よりも増加がみられている。2012年第36～46週の定点当たり累積報告数は52.41(累積報告数165,397)であり、年齢群別割合は0～1歳26.2%、2～3歳21.2%、4～5歳16.9%、6～7歳9.8%の順となっている。

2012年の感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第42週以降増加が続いており、特に第44週に5.0を上回って以降は急激な増加となり、全国的な流行となってきている。感染性胃腸炎の報告数の推移には今後とも注意深い観察が必要である。

.....

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第48週 平成24年11月26日(月)～平成24年12月2日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	高知県						計	前週	全国(47週)	高知県(48週末累計)		全国(47週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H24/1/2～H24/12/2	H24/1/2～H24/11/25		
インフルエンザ	インフルエンザ				4	1		1	6 (0.13)	3 (0.06)	1,096 (0.22)	16,427 (342.23)	1,638,766 (333.63)		
小児科	咽頭結核熱			1	1				2 (0.07)	()	1,001 (0.32)	159 (5.30)	46,673 (14.85)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			10	5	4	3	2	24 (0.80)	18 (0.60)	4,961 (1.57)	1,890 (63.00)	247,036 (78.62)		
	感染性胃腸炎	12	64	121	36	28	36	297 (9.90)	200 (6.67)	41,041 (13.02)	7,549 (251.63)	961,935 (306.15)			
	水痘	9		14	6			28	57 (1.90)	59 (1.97)	4,601 (1.46)	2,215 (73.83)	164,826 (52.46)		
	手足口病				1				1 (0.03)	1 (0.03)	1,455 (0.46)	120 (4.00)	66,659 (21.22)		
	伝染性紅斑				3		1		4 (0.13)	4 (0.13)	134 (0.04)	852 (28.40)	20,171 (6.42)		
	突発性発疹		5	6	3		1		15 (0.50)	14 (0.47)	1,587 (0.50)	650 (21.67)	84,588 (26.92)		
	百日咳						2		2 (0.07)	3 (0.10)	60 (0.02)	328 (10.93)	3,819 (1.22)		
	ヘルパンギーナ	1		1					2 (0.07)	3 (0.10)	188 (0.06)	830 (27.67)	113,817 (36.22)		
	流行性耳下腺炎	2							2 (0.07)	5 (0.17)	998 (0.32)	678 (22.60)	66,168 (21.06)		
RSウイルス感染症		7	10			8	1	26 (0.87)	21 (0.70)	3,303 (1.05)	910 (30.33)	78,127 (24.87)			
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	6 (0.01)	1 (0.33)	439 (0.64)			
	流行性角結膜炎							()	()	328 (0.48)	44 (14.67)	17,603 (25.85)			
基幹	細菌性髄膜炎							()	1 (0.13)	7 (0.01)	9 (1.29)	431 (0.92)			
	無菌性髄膜炎			1				1 (0.13)	()	17 (0.04)	24 (3.43)	851 (1.82)			
	マイコプラズマ肺炎			6				6 (0.75)	6 (0.75)	497 (1.06)	219 (31.29)	20,883 (44.72)			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							()	()	22 (0.05)	13 (1.86)	792 (1.70)			
計(小児科定点当たり人数)	21 (10.50)	90 (12.85)	173 (14.97)	50 (16.53)	43 (21.50)	68 (13.53)	445 (14.54)			61,302	32,918 (881.59)	3,533,584			
前週(小児科定点当たり人数)	19 (9.50)	39 (5.57)	198 (17.69)	36 (11.73)	18 (9.00)	25 (4.80)		338 (11.00)							

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	高知県						計	前週	全国(47週)	高知県(48週末累計)		全国(47週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H24/1/2～H24/12/2	H24/1/2～H24/11/25		
インフルエンザ	インフルエンザ				0.25	0.20		0.13	0.13	0.06	0.22	342.23	333.63		
小児科	咽頭結核熱			0.14	0.09				0.07		0.32	5.30	14.85		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1.43	0.45	1.33	1.50	0.40	0.80	0.60	1.57	63.00	78.62		
	感染性胃腸炎	6.00	9.14	11.00	12.00	14.00	7.20	9.90	6.67	13.02	251.63	306.15			
	水痘	4.50		1.27	2.00			5.60	1.90	1.97	73.83	52.46			
	手足口病			0.09					0.03	0.03	0.46	4.00	21.22		
	伝染性紅斑				0.27		0.50		0.13	0.13	0.04	28.40	6.42		
	突発性発疹		0.71	0.55	1.00	0.50		0.50	0.47	0.50	21.67	26.92			
	百日咳						1.00		0.07	0.10	0.02	10.93	1.22		
	ヘルパンギーナ		0.14	0.09					0.07	0.10	0.06	27.67	36.22		
	流行性耳下腺炎		0.29						0.07	0.17	0.32	22.60	21.06		
RSウイルス感染症		1.00	0.91			4.00	0.20	0.87	0.70	1.05	30.33	24.87			
眼科	急性出血性結膜炎										0.01	0.33	0.64		
	流行性角結膜炎										0.48	14.67	25.85		
基幹	細菌性髄膜炎								0.13		0.01	1.29	0.92		
	無菌性髄膜炎			0.20				0.13			0.04	3.43	1.82		
	マイコプラズマ肺炎			1.20				0.75	0.75	1.06	31.29	44.72			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0.05	1.86	1.70			
計(小児科定点当たり人数)	10.50	12.85	14.97	16.53	21.50	13.53	14.54				881.59				
前週(小児科定点当たり人数)	9.50	5.57	17.69	11.73	9.00	4.80		11.00							

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869